

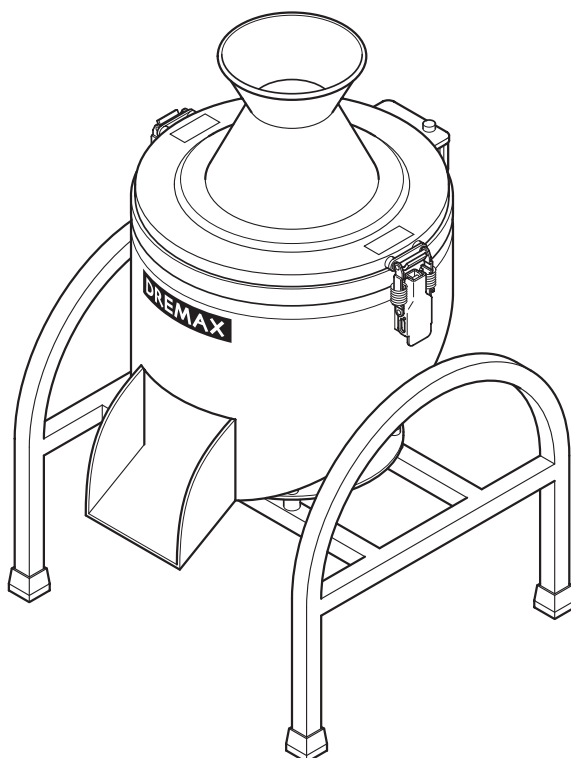
DREMAX

保証書付

スーパーオロシ

DX-660

取扱説明書



警告



接触禁止

運転中は危険ですので投入口へは絶対に手を入れないでください。
けがの原因になります。

- このたびは **DREMAX スーパーオロシ DX-660** をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- 製品を安全に正しく使用していただくためにお使いになる前にこの取扱説明書を必ずお読みになり十分にご理解ください。
- 取扱説明書はお読みになられた後、いつでもお手元においてご使用ください。
- 保証書は取扱説明書の裏表紙に記載しております。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ	3
正しい使い方	4
ブレーカーが落ちた時の処置	6
お手入れ方法	7
仕 様	8
保証とアフターサービス	裏表紙
保証書	裏表紙

安全上のご注意

- ご使用になる前に内容をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- 警告・注意の指示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 刃物注意	△は、注意(警告を含む)を示します。具体的な注意事項は、△の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は"刃物注意"を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は"分解禁止"を示します。
 プラグを抜く	●は、強制(必ずやること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は"プラグを抜くこと"を示します。

警告

 使用禁止	本取扱説明書の記載内容が理解できない人は本機を使用しないでください。	事故の原因になります。
 分解禁止	修理技術者以外は、絶対に修理・改造をしないでください。	火災・感電・けがの原因になります。
 水濡れ禁止	本体を水に浸したり、電源コードを水につけたり、電源スイッチなどの電源部に水をかけないでください。	ショート・感電・故障の原因になります。
 接触禁止	運転中は可動部に手を近づけないでください。 また、投入口には絶対に手を入れないでください。	けがの原因になります。
 強制	必ず、運転前にオロシドラムの中に異物が入っていないことを確認してください。	故障・破損・けがの原因になります。
 禁止	野菜以外のものを入れて運転しないでください。	故障・破損・けがの原因になります。
 禁止	運転中に本体から各ユニットをはずさないでください。	故障・破損・けがの原因になります。



警 告

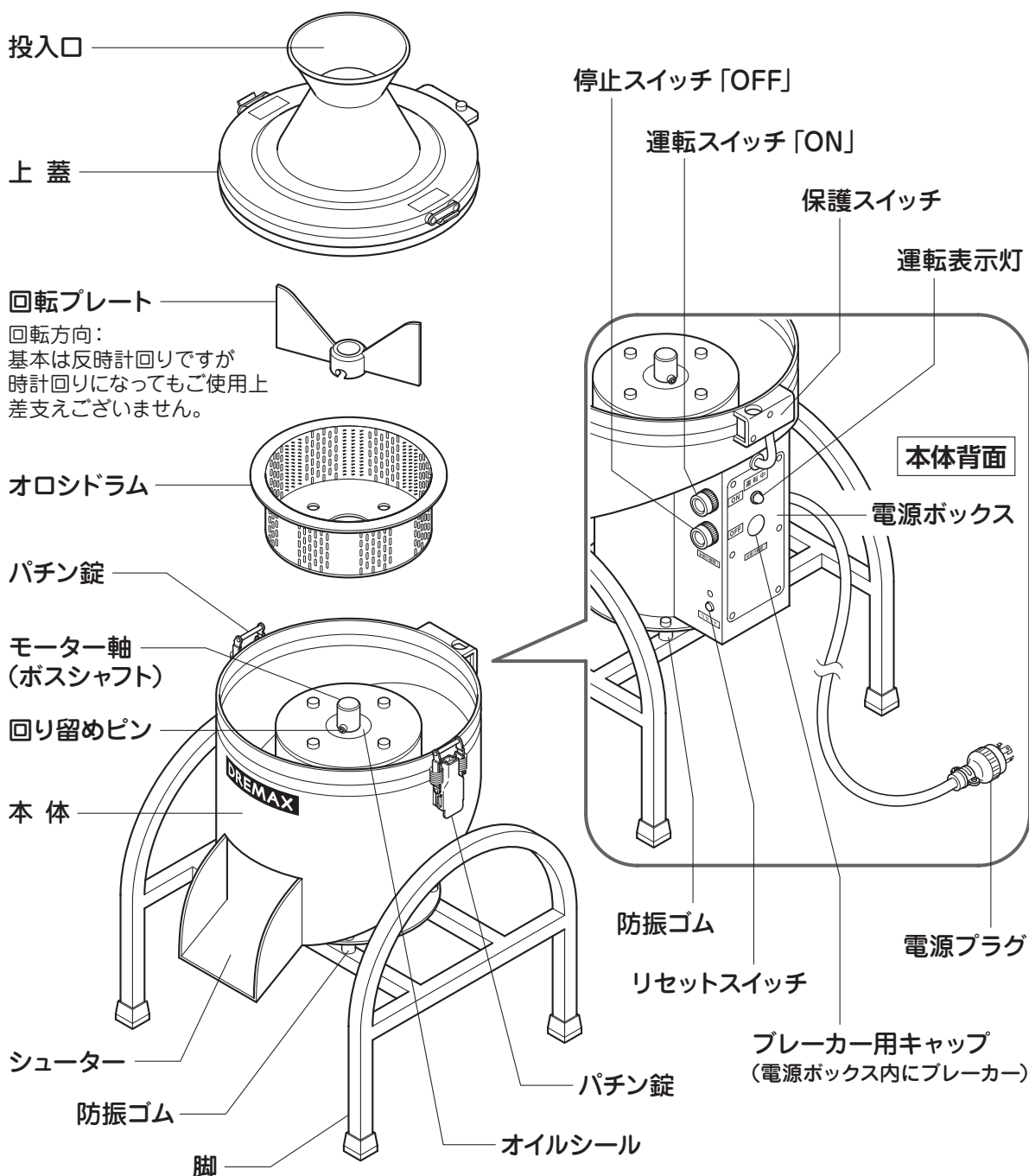
 禁 止	保護スイッチを細い棒などで押さないでください。 スイッチが入っていた場合、回転部が作動して危険です。	けが・故障の原因 になります。
 プラグを抜く	各ユニットの取り付け・取り外し、お手入れをする際は、 必ずスイッチを切り、機械が停止していることを確認し、 電源プラグをコンセントから抜いてください。	けが・感電の原因 になります。
 禁 止	子どもに使用させないでください。 また、作業中に子どもを近づけないでください。	けが・感電をする 恐れがあります。



注 意

 禁 止	不安定な場所では使用しないでください。	機械の転倒による 破損やけがの原因 になります。
 強 制	交流 200V（定格）以外では使用しないでください。	火災・感電・故障 の原因になります。
 禁 止	運転中に本体を移動させないでください。	けが・破損・故障 の原因になります。
 プラグを持つ	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端 の電源プラグを持って引き抜いてください。	ショートや感電し て発火する恐れが あります。
 強 制	電源プラグの抜き差しは、機械が停止していることを確認 してからおこなってください。	破損・故障・けが の原因になります。
 禁 止	電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、 無理に曲げたり、引き抜いたりしないでください。 また、電源コードに重い物を載せたり、挟み込んだり、 ガスコンロなどの熱源に近づけたりしないでください。	コードが破損し、 火災・感電の原因 になります。
 使用禁止	電源コードが傷んでいたり、電源プラグのコンセントへの 差し込みがゆるい場合は、使用しないでください。	ショート・感電・発火 の原因になります。
 プラグを抜く	ご使用の時以外は、電源プラグをコンセントから抜いて ください。	絶縁劣化による感 電・漏電・火災の原 因になります。
 禁 止	本体および付属部品の煮沸消毒をしないでください。 付属部品の洗浄に食器洗浄機を使用しないでください。	機械の故障・変形・ 破損の原因になり ます。

各部のなまえ



※イラストのオロシドラムは中目です。
別売オプションとして「極細目」「細目」「粗目」「鬼オロシ」もごさいます。
詳しくはお問い合わせください。

正しい使い方

本機を初めてご使用になる場合は、必ず洗浄してからお使いください。
洗浄のしかたは「お手入れ方法」(6ページ)を参照してください。

1 食材の準備をしてください。

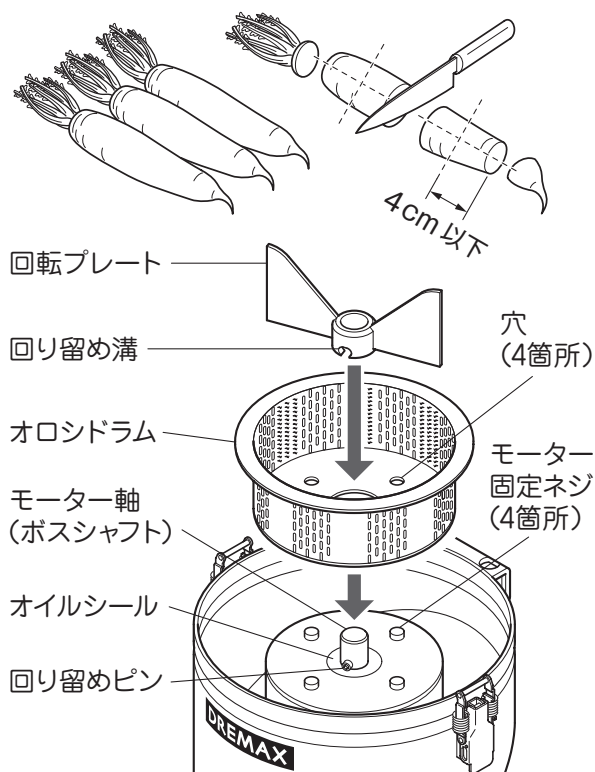
- 大根などの食材は皮をむいて両端を切り落とし、図のように4cm以下にカットして投入口に入れやすい大きさにしてください。
- 繊維のきつい生姜などは小さく切ってください。

⚠ 注意

大根を切らずに大きなまま投入すると機械に負荷がかかり故障の原因になります。

2 本体にオロシドラム・回転プレートを装着してください。

- オロシドラムの4箇所の穴を本体のモーター固定ネジに合わせて確実にセットしてください。
- 回転プレートの溝がモーター軸(ボスシャフト)の回り留めピンに留まるように確実にセットしてください。

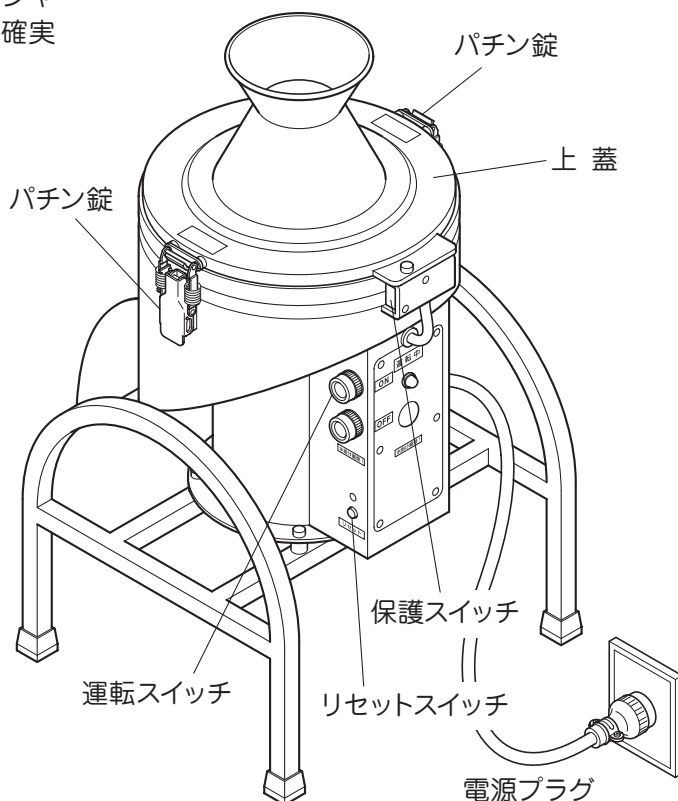


3 上蓋(投入口)を装着し、パチン錠で固定してください。

- 安全のため保護スイッチがついています。

上蓋がはずれた状態ではスイッチを入れても作動しません。ご使用になるときは上蓋を保護スイッチに合わせて正しく装着し、左右のパチン錠を確実に掛けてください。

4 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

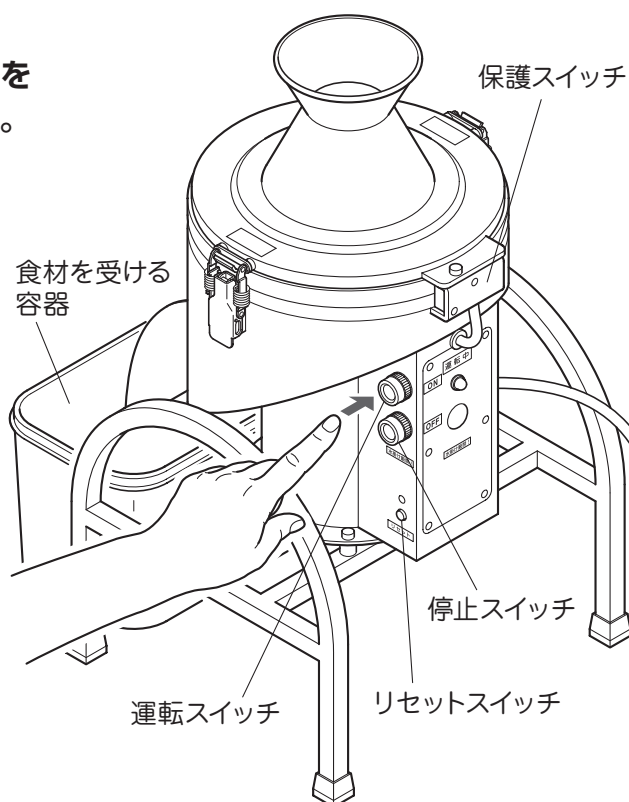


5 シューターの下に食材を受ける容器を置き、運転スイッチを押してください。

- 回転プレートが回転します。
- 万一、保護スイッチがはたらき運転が停止した場合は、上蓋を本体に確実に装着しなおして、再度運転スイッチを押してください。

⚠ 注意

食材投入時以外はスイッチを「OFF」にしてください。故障の原因になります。



6 食材を投入口から入れてください。

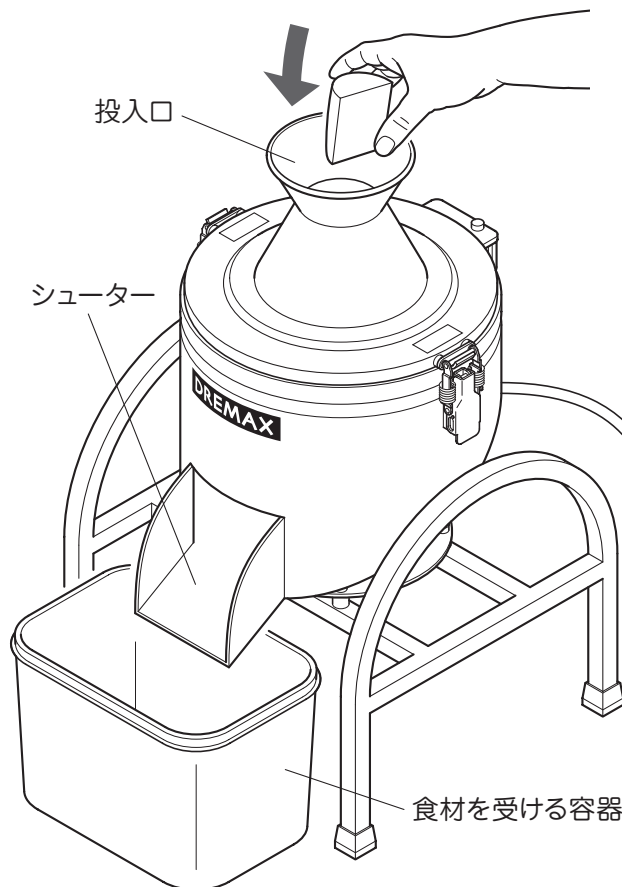
- 回転プレートが回転していることを確認し、食材を投入してください。おろされた食材がシューターから出てきます。
- 一度に大量の食材を入れたり、大きな食材を投入すると、モーターに負荷がかかり運転が停止する場合があります。
食材はなるべく小さくカットした物を間をおきながら投入してください。
万一、モーターが停止した場合、リセットスイッチを押して、再度運転スイッチを押してください。

⚠ 警告

運転中、投入口には絶対に手を入れないでください。また、髪、エプロン、洋服などが吸い込まれない様に十分注意してください。巻き込まれ、けがの原因になります。

7 作業を終えたら、停止スイッチを押し、電源プラグを抜いてください。

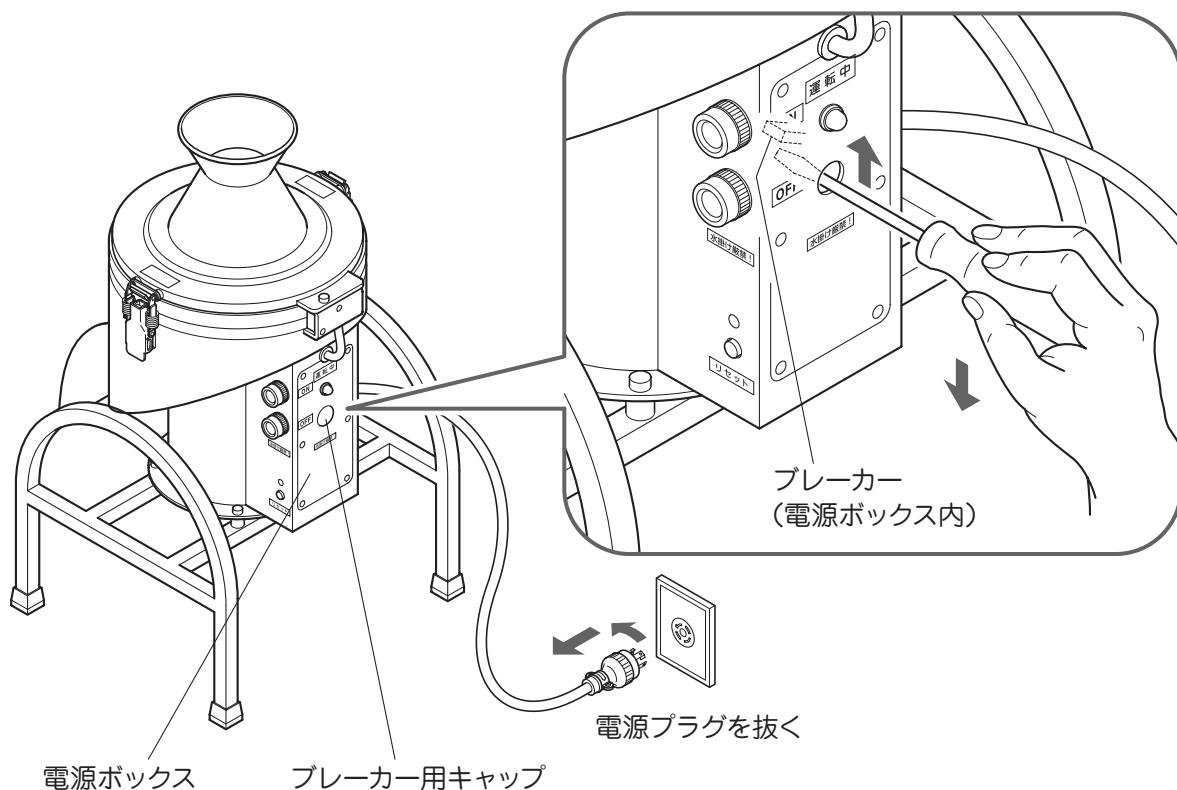
- 必ず停止スイッチを押して本体を停止させてから電源プラグを抜いてください。



ブレーカーが落ちた時の処置

運転中、過電圧もしくは漏電等で電源ボックス内のブレーカーが落ちることがあります。
その場合は以下の手順で復旧してください。

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 電源ボックスのブレーカー用キャップをはずしてください。
3. 図のように穴からドライバーなどを使って、下がったブレーカーのスイッチを上げてください。
4. ブレーカー用キャップを取り付けてください。
5. 復旧後すぐに作業を再開せずに、本体が水で濡れている場合は、しっかりと水気を拭き取り、少し時間をあけてから作業してください。



お手入れ方法

ご使用後は、付着した食材が乾いてこびりつく前によく洗浄して取り除いてください。
洗い残しが故障の原因になることがあります。

1 お手入れの際は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 上蓋（投入口）・回転プレート・オロシドラムを本体からはずし、水洗いしてください。

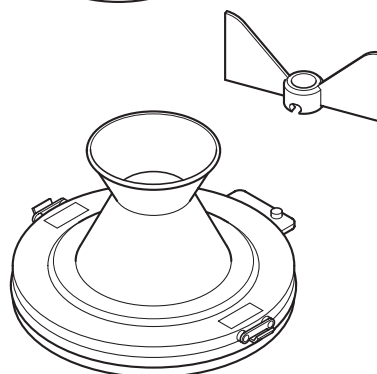
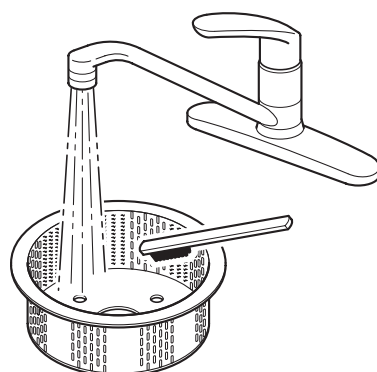
警告

オロシドラムを洗うときはブラシ等を使用してください。
目立てがついている為、素手で洗うとけがの原因になります。

3 本体を水洗いしてください。

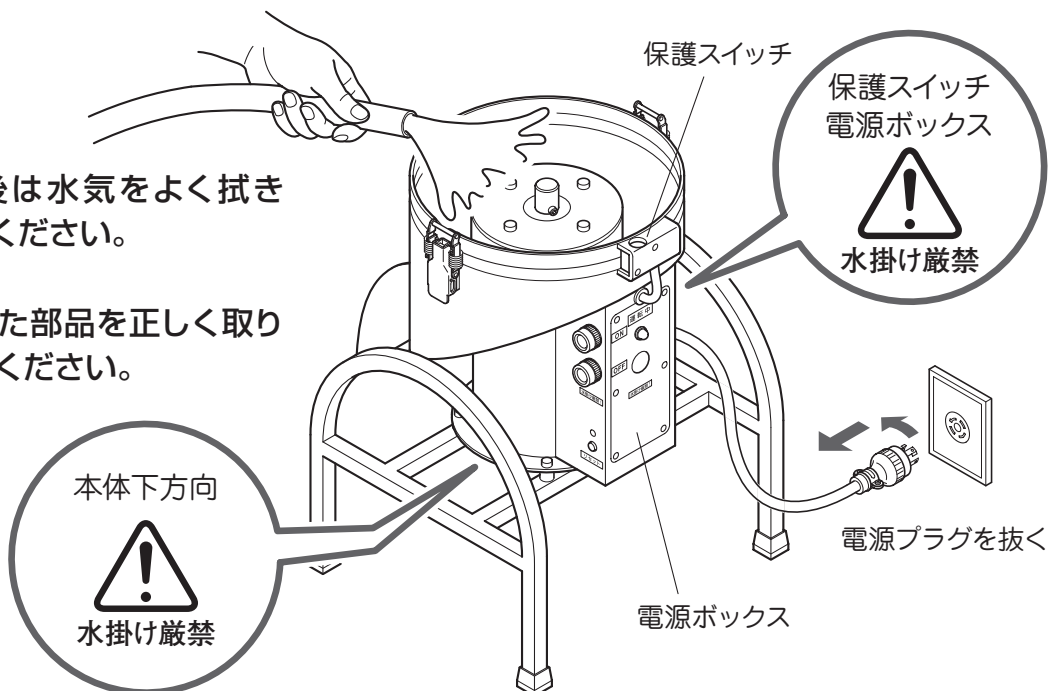
注意

- 保護スイッチに水がかからないように注意してください。
故障の原因になります。
- 本体背面（電源ボックス）に水をかけないでください。
また、本体下方向から水をかけないでください。
故障の原因になります。
- 本体および付属部品の煮沸消毒をしないでください。
付属部品の洗浄に食器洗浄機を使用しないでください。
機械の故障・変形・破損の原因になります。



4 洗浄後は水気をよく拭き取ってください。

5 はずした部品を正しく取り付けてください。



仕 様

機 械 寸 法	W500 × L500 × H780 (mm)
投 入 口	80mm (特注可)
重 量	40kg
電 動 機	三相 200V 1500W
使 用 時 間	毎時 100 ～ 300kg
処 理 能 力	毎時 50 ～ 100 kg
適 応 食 材	大根、山芋、玉葱、人参、生姜、にんにく 他
外 装	SUS 304 ステンレス製
安 全 装 置	センサー感知による回路遮断
付 属 品	オロシドラム 1 個 (標準装備は中目) 回転プレート

※別売品:オロシドラム (極細目、細目、中目、粗目、鬼オロシ)

..... MEMO

.....

DREMAX

..... MEMO

.....

DREMAX

保証とアフターサービス

よくお読みください

使い方・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

お買い求め先

電 話

お買い上げ日 年 月 日

●保証期間中は、下記の規定に従ってお買い求め先が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から 本体 1 年間

1. 保証規定

- ① 本製品の保証期間はご購入日より 1 年間とさせていただきます。保証期間内で取扱説明書に従い、通常のご使用状態において、製造上の不備に起因する不具合について保証いたします。
- ② 本保証は日本国内においてのみ有効となります。
- ③ 本製品の故障などに起因する二次的な災害（他の機械の破損など）・損失については一切責任を負いかねますのでご了承ください。

保証書は必ず『お買い上げ日・販売店名』等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間はお買い上げから 1 年間です。

2. 修理を依頼されるとき

「おかしいな？」と思ったら、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証期間中は……

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書（取扱説明書）を添えてご持参ください。

保証期間が過ぎているときは……

お買い上げの販売店へご依頼ください。
修理すればご使用になれる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは

「取扱説明書」でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い求め先へご連絡ください。

製 品 名 スーパーオロシ

品 番 DX-660

故障の状況 できるだけ具体的に

愛情点検

長年のご使用のためスーパーオロシの点検をぜひ！

このような症状はありませんか？	ご使用中に電源コード・電源プラグが異常に熱くなる。
	電源コードを曲げると通電したり、しなかったりする。
	いつもより異常に音、振動が大きくなる。
	その他異常、故障がある。

ご使用にならないでください。

故障や事故防止のためスイッチを切り、電源コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。
点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

安全に関するご注意

- ご使用前に【取扱説明書】をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- 取り扱いを誤りますと火災や事故の原因となります。
※保証期間中であっても、次の場合は有料になりますので、ご注意ください。
- (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造（P1「安全上のご注意」警告事項参照）による故障および損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
- (3) 火災・地震・風水害・落雷その他天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
- (4) 消耗品および消耗による故障。
- (5) 清掃不足による故障

保証書

型式 スーパーオロシ DX-660				
お客様	お名前	ふりがな	保証期間 1 年	お買い上げ日 年 月 日から
	ご住所	〒□□□-□□□□	販売店 店名	
		お電話	電話	

株式会社ドリマックス

〒332-0035 埼玉県川口市西青木 3-3-9 ドリマックスビル

TEL: 048-254-1231 FAX: 048-254-1331

URL <http://www.dremax.com>

注）製品は改良のため予告なく仕様、デザインを変更することがあります。

検査証	
出荷責任者	製造責任者

2021.10